

## —2019 年度千葉県代協第 3 回 C S R 委員会議事録—

開催日時場所：12 月 11 日(水) 12：00～14：00 よつば総合法律事務所

出席者：福原鋭司（市原） 青木繁（木更津） 東條史（京葉） 和田司（千葉） 池辺晃司（東葛）  
中川信秀（北総） 間立徹（安房） 鈴木正雄（銚子） 伊藤綱人（茂原）  
オブザーバー：小口泰伸（会長）

議題内容： **C S R 委員会の活動活性化と実効性ある防災にむけて**

### 小口会長挨拶

ぼうさい探検隊マップコンクールは、応募団体数 9 ならびに達成率で全国 1 位となったが各委員の努力に感謝申し上げる。また事務局に大規模災害時の備えとして蓄電池を購入した。

ブロックセミナーは 150 席が満席となり動員への協力に感謝申し上げます。

### 1. 報告事項

#### 9 月 19 日から 12 月 11 日迄の活動とこれからの各支部予定

各委員から報告いただいた。千葉支部では地震保険普及を 12 月 18 日実施予定。京葉支部では 12 月 17 日実施予定。

市原支部で実施の行政によるお出かけ君(出前授業)は台風関連のテーマは既にいっぱいのため、道路整備の概況について実施。

木更津支部では 15 号台風を受けて 2 月 7 日に木更津市の危機管理部署による災害対策と社会福祉協議会による災害ボランティアの実際についてセミナーを計画中のことであった。

安房支部の間立委員から 15 号台風上陸以降 3 か月間昼休み無しで顧客対応に当たった様子を報告いただいた。損害が少なかった社員の自宅や顧客の工務店を仮事務所にして約 600 件の事故を受付たものの写真見積り作成が進まず支払いに時間を要した。並行して顧客の事業継続支援や契約者の健康面の情報提供に腐心した。

#### 日本代協の C S R 活動

大阪代協が制度設計した防災啓発員制度は講習受講者が試験合格を経て府から認定証が付与され、建築防災啓発員として行政職員に代わって耐震化や通電火災防止用感震ブレーカーに関する情報提供をできる制度である。また西日本豪雨の教訓と課題をセミナーの形で情報発信した岡山代協の事例など通常時の C S R 活動の枠を超えたより実効性ある防災減災の取り組みへと軸足を移しつつある姿を報告した。

## 2. 協議事項

### ぼうさい探検隊マップコンクール振り返り

今年度のぼうさい探検隊マップコンクールを振り返った。千葉県からの応募状況は北総 1 件、市原 2 件、茂原 6 件であった。小学校等の団体に伝えてやっていただく従来の形から支部活動の一環として自らがぼうさいマップを作成する実践型に転換している埼玉代協の取り組みを紹介した。それを受けて北総支部の中川委員から支部での取り組みについて写真を交えて報告があった。

### サイバーセキュリティセミナー

既実施の東葛、京葉、千葉、市原、木更津 5 支部の他、茂原で 2/7、北総で 2/13 実施予定。安房と銚子支部会員もいずれかの支部で受講を検討する。

### 赤い羽根共同募金

10 月 1 日から実施中であり、既に北総支部では高額な募金が寄せられている。これから忘年会、新年会時に実施することとし、今年度も第 4 回委員会時に募金先を決定することとした。

### 大規模災害時対応

千葉代協独自の防災、減災の具体的取り組みに関して、現実に災害が多発する中でより実効性が求められている。既に他府県代協では一歩進んだ取り組みが CSR 委員会主導で行われている。事例として報告した大阪府建築防災啓発員制度は資格制度を創設した高度な事例でなかなか実現は難しい。代協名は未公表であるものの大規模災害時協定案は各支部でも参考にして取り入れられる点は取り入れていきたい。

千葉代協の取り組みとしては、15 号台風の復旧業者の東関東ブロック内での紹介制度を急ぎ構築した。埼玉代協会長より出張修理をして頂ける業者を紹介頂き、特に緊急に修理を要する案件を抱えている会員代理店への支援を目的とした。利用は少数に止まってしまったが活用を促進するためには、平常時から業者と交流を図るなど提携の精度向上が欠かせない。

小職がまとめた「2019 年 15 号台風が千葉県と千葉代協に残したもの」も一読いただき今後の参考にしていただければ幸いである。

次回開催日 2020 年 3 月 6 日 15 時から第 4 回 CSR 委員会開催